

# 令和3年度事業計画

一般社団法人 滋賀県畜産振興協会

## 1 基本方針

日本の畜産業は、経済のグローバル化の一層の進展等を背景に、さらなる自由貿易への流れは不可避となっており、新たな国際環境の下で収益力や生産基盤の強化を図ることが課題となっている。

さらに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によりインバウンド需要の減少や外食需要の減少を招き、一時は近江牛の枝肉価格が大幅に下落するなど、近江牛をはじめとする本県の畜産業は大きな影響を受けている。

国においては畜産業の国際競争力を高めるため、肉用牛・乳用牛の増頭・増産を図る生産基盤の強化や中小・家族経営や経営継承の支援など「畜産・酪農収益力強化総合プロジェクト」を推進している。また、新型コロナウイルス感染症対策として、肥育牛経営改善等緊急対策や肉用牛肥育経営安定交付金制度における生産者負担金の納付猶予などの対策を講じている。

このような状況の中、当協会においては、地理的表示（GI）保護制度の適正な運用により「近江牛」ブランドの一層の普及拡大を図るとともに、セーフティーネット対策として「肉用子牛生産者補給金制度」や「肉用牛肥育経営安定制度」の実施により、生産者の経営安定を図っていく。さらに畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（クラスター事業）および畜産経営体生産性向上対策事業などの支援対策を県窓口団体として引き続き実施し、生産者の経営基盤強化や畜産経営の維持・改善に取り組んでいくこととする。

## 2 事業計画

### (1) 経営安定対策事業

肉用子牛・肉用牛の価格補てん事業やその他の関連助成対策事業を実施し、畜産農家の経営の安定を図る。

### (2) 生産振興対策事業

#### ア 生産振興および経営技術対策

畜産経営の安定および生産性の向上を図るため、計画的な機械・装置の導入および経営診断に基づく生産・技術支援を行う。

#### イ 酪農経営安定対策

ゆとりある酪農経営を確立するため、酪農ヘルパー利用組合が行うヘルパー事業の円滑な推進やヘルパー要員の確保・育成を支援する。

#### ウ 家畜改良対策

家畜改良を推進するため、家畜登録事業（和牛・乳牛）の実施、牛凍結精液の供給等を行う。

### (3) 家畜防疫体制確保対策事業

安全・安心な畜産物を生産・提供するため、家畜疾病防疫対策や家畜衛生指導等を行う。また、万一の特定家畜伝染病の発生に備え、互助基金対策等を実施する。

### (4) 畜産生産者団体の活動支援対策事業

当協会内に事務局を置く畜産関係任意団体（5団体）の活動や生産者と消費者をつなぐ取組を支援し、県内畜産の振興に努める。

# 収 支 予 算 書

自 令和 3 年 4 月 1 日

至 令和 4 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較	備 考
<b>I 一般正味財産増減の部</b>				
<b>1 経常増減の部</b>				
(1) 経常収益				
特定資産運用益	28,500	29,500	△ 1,000	
受取会費	5,066,400	5,073,900	△ 7,500	
事業収益	51,705,810	57,216,160	△ 5,510,350	
受取補助金等	357,557,111	289,720,536	67,836,575	
受取受託金	85,312,000	18,483,000	66,829,000	
受取積立金	1,900,000	1,900,000	-	
受取預り金	3,600,000	3,600,000	-	
雑収益	914,210	914,010	200	
指定正味財産からの振替額	49,856,400	79,735,525	△ 29,879,125	
経常収益計	555,940,431	456,672,631	99,267,800	
(2) 経常費用				
事業費用	548,238,021	450,621,221	97,616,800	
管理費	4,202,400	3,944,945	257,455	
支払預り金	3,600,000	3,600,000	-	
経常費用計	556,040,421	458,166,166	97,874,255	
(うち人件費)	48,776,287	47,413,127	1,363,160	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 99,990	△ 1,493,535	1,393,545	
評価損益等計	-	-	-	
当期経常増減額	△ 99,990	△ 1,493,535	1,393,545	
<b>2 経常外増減の部</b>				
(1) 経常外収益				
受取積立準備金振替額	-	10,009,884	△ 10,009,884	
経常外収益計	-	10,009,884	△ 10,009,884	
(2) 経常外費用				
支払返戻金	-	10,009,884	△ 10,009,884	
経常外費用計	-	10,009,884	△ 10,009,884	
当期経常外増減額	-	-	-	
当期一般正味財産増減額	△ 99,990	△ 1,493,535	1,393,545	
一般正味財産期首残高	112,187,851	112,486,179	△ 298,328	
一般正味財産期末残高	112,087,861	110,992,644	1,095,217	
<b>II 指定正味財産増減の部</b>				
特定資産運用益	46,125	102,863	△ 56,738	
受取補助金等	1,549,400	9,537,800	△ 7,988,400	
受取積立金	332,610,000	72,060,900	260,549,100	
基金取崩額	51,035,800	90,942,309	△ 39,906,509	
基金繰入額	△ 335,384,925	△ 82,898,463	△ 252,486,462	
一般正味財産への振替額	△ 49,856,400	△ 89,745,409	39,889,009	
当期指定正味財産増減額	-	-	-	
指定正味財産期首残高	-	-	-	
指定正味財産期末残高	-	-	-	
<b>III 正味財産期末残高</b>	112,087,861	110,992,644	1,095,217	

# 令和 2 年度 事業報告

一般社団法人 滋賀県畜産振興協会

## 1 事業概要

世界経済のグローバル化・自由貿易の進展、地球温暖化による気候変動など、我が国の畜産業を取り巻く環境は厳しさを増す一方であり、経営体質や生産基盤の強化等を早急に図ることが喫緊の課題となっている。

さらに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い外食需要が大幅に減少したこと等により、一時は近江牛の枝肉価格が大幅に下落するなど本県の畜産業も大きな影響を受けたところである。その後、中食等の伸びによりやや持ち直したものの、今もコロナ禍の収束は見通せず畜産業を取り巻く環境は不透明な状況となっている。

このような中、会員その他関係機関との連携を深め、近江牛をはじめとする肉用牛・酪農・養豚・養鶏の各種支援策や家畜防疫対策、畜産生産団体の活動支援に取り組み、本県の畜産振興に努めた。

## 2 事業実績

### (1) 経営安定対策事業

畜産農家の経営の安定を図るため、肉用子牛・肉用牛の価格補てん事業やその他の関連助成対策事業を実施した。

肉用牛肥育経営安定制度実績：肉専用種 3,839頭 交雑種 2,133頭 乳用種 73頭

### (2) 生産振興対策事業

#### ア 生産振興および経営技術対策

畜産経営の安定および生産性の向上を図るため、近江牛の地理的表示（G I）保護制度の運用や、畜産クラスター計画に基づく機械のリース事業、経営診断、データ等に基づく生産・技術改善指導を実施した。

近江牛地理的表示保護制度運用事業実績

指定牧場の登録：74牧場 近江牛確認頭数：7,785頭

畜産収益力強化整備等特別対策事業（機械リース導入事業）実績

取組協議会数：8地域クラスター協議会 導入機械装置数：59台

#### イ 酪農経営安定対策

酪農家の労働負担軽減、省力化をすすめ、ゆとりある酪農経営を確立するため、酪農ヘルパー利用組合が行うヘルパー事業の利用拡大やヘルパー要員の確保等を支援した。

#### ウ 家畜改良対策

家畜改良の推進を図るため、家畜登録事業（和牛・乳牛）および牛凍結精液供給事業を実施した。

和牛基本登録：171頭 子牛登記：1,455頭 乳用牛登録：279頭

凍結精液供給本数：乳用種 683本 黒毛和種 4,691本

### (3) 家畜防疫体制確保対策事業

家畜の健康保持により、安全・安心な畜産物の安定生産を図るため、主要な伝染病の計画的な予防注射を実施した。また、伝染病発生時の対策等を支援するための防疫演習を実施した。

特定疾病損耗防止事業：予防接種 3,628頭

### (4) 畜産生産者団体の活動支援対策事業

当協会内に事務局を置く畜産関係任意団体（5団体）の活動を支援し、県内畜産の振興に努めるとともに生産者、関係機関が丸となり、共進会や交流会の開催などを行った。

# 正味財産増減計算書

自 令和 2 年 4 月 1 日  
至 令和 3 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	23,869	24,934	△ 1,065
受取会費	4,114,320	4,847,860	△ 733,540
事業収益	55,405,465	51,494,312	3,911,153
受取補助金等	693,268,308	65,437,589	627,830,719
受取受託金	176,385,299	17,888,770	158,496,529
受取積立金	1,894,200	1,946,800	△ 52,600
受取預り金	3,531,220	3,934,405	△ 403,185
雑収益	1,388,479	1,400,158	△ 11,679
指定正味財産からの振替額	104,232,466	1,520,409	102,712,057
経常収益計	1,040,243,626	148,495,237	891,748,389
(2) 経常費用			
事業費	1,030,338,290	139,236,373	891,101,917
管理費	4,291,233	3,474,241	816,992
支払預り金	3,531,220	3,934,405	△ 403,185
雑費	423,315	1,609	421,706
経常費用計	1,038,584,058	146,646,628	891,937,430
(うち人件費)	49,051,102	47,943,726	1,107,376
評価損益等調整前当期経常増減額	1,659,568	1,848,609	△ 189,041
評価損益等計	-	-	-
当期経常増減額	1,659,568	1,848,609	△ 189,041
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
受取積立準備金振替額	10,947,492	933,721,115	△ 922,773,623
経常外収益計	10,947,492	933,721,115	△ 922,773,623
(2) 経常外費用			
支払返戻金	10,947,492	933,721,115	△ 922,773,623
経常外費用計	10,947,492	933,721,115	△ 922,773,623
当期経常外増減額	-	-	-
当期一般正味財産増減額	1,659,568	1,848,609	△ 189,041
一般正味財産期首残高	114,532,459	112,683,850	1,848,609
一般正味財産期末残高	116,192,027	114,532,459	1,659,568
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
特定資産運用益	237,207	101,882	135,325
受取補助金等	1,452,300	12,010,300	△ 10,558,000
受取積立金	427,750	97,740,100	△ 97,312,350

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
基金取崩額	116,280,608	949,006,603	△ 832,725,995
基金繰入額	△ 6,422,507	△ 122,837,661	116,415,154
一般正味財産への振替額	△ 115,179,958	△ 935,241,524	820,061,566
当期指定正味財産増減額	△ 3,204,600	779,700	△ 3,984,300
指定正味財産期首残高	3,204,600	2,424,900	779,700
指定正味財産期末残高	—	3,204,600	△ 3,204,600
Ⅲ 正味財産期末残高	116,192,027	117,737,059	△ 1,545,032

# 貸 借 対 照 表

令和 3 年 3 月 31 日現在

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
<b>I 資 産 の 部</b>			
1 流 動 資 産			
現 金 預 金	53,115,521	49,469,730	3,645,791
未 収 金	57,326,009	61,109,012	△ 3,783,003
前 払 金	203,709	203,709	—
仮 払 金	800	129,740	△ 128,940
流動資産合計	110,646,039	110,912,191	△ 266,152
2 固 定 資 産			
(1) 特 定 資 産			
退職給付引当資産	11,994,982	11,994,982	—
生産者積立資産	2,886,025	—	2,886,025
生産者積立準備資産	29,841,627	41,871,160	△ 12,029,533
特別の積立資産	2,446,977	2,446,769	208
特別運用基金資産	52,520,000	52,520,000	—
運営基金資産	23,870,000	23,870,000	—
県積立資産	2,721,888	9,909,226	△ 7,187,338
肥育生産者積立資産	24,497,163	118,024,626	△ 93,527,463
近江牛等特別基金資産	9,468,982	7,980,700	1,488,282
畜産振興運営基金資産	43,903,976	31,603,495	12,300,481
G I 事業基金資産	1,475,547	—	1,475,547
予防注射事故基金資産	1,201,362	1,201,351	11
支援基金資産	—	8,136,446	△ 8,136,446
特定資産合計	206,828,529	309,558,755	△ 102,730,226
(2) そ の 他 固 定 資 産			
出 資 金	3,000,000	3,000,000	—
長 期 預 け 金	4,000,000	4,000,000	—
その他固定資産合計	7,000,000	7,000,000	—
固定資産合計	213,828,529	316,558,755	△ 102,730,226
資産合計	324,474,568	427,470,946	△ 102,996,378
<b>II 負 債 の 部</b>			
1 流 動 負 債			
未 払 金	51,753,157	44,082,519	7,670,638
前 受 金	35,860	35,860	—
預 り 金	4,814,608	4,729,355	85,253
仮 受 金	33,600	249,390	△ 215,790
流動負債合計	56,637,225	49,097,124	7,540,101
2 固 定 負 債			
退職給付引当金	12,861,636	11,994,982	866,654
生産者積立引当金	27,383,188	118,024,626	△ 90,641,438
生産者積立準備引当金	29,841,627	41,871,160	△ 12,029,533
特別の積立引当金	2,446,977	2,446,769	208
特別運用基金	52,520,000	52,520,000	—
運営基金	23,870,000	23,870,000	—
県積立引当金	2,721,888	9,909,226	△ 7,187,338
固定負債合計	151,645,316	260,636,763	△ 108,991,447
負債合計	208,282,541	309,733,887	△ 101,451,346
<b>III 正味財産の部</b>			
1 指 定 正 味 財 産			

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
県 積 立 資 産	—	3,204,600	△ 3,204,600
指 定 正 味 財 産 合 計	—	3,204,600	△ 3,204,600
(うち特定資産への充当額)	(—)	(—)	(—)
2 一 般 正 味 財 産	116,192,027	114,532,459	1,659,568
(うち特定資産への充当額)	(56,049,867)	(48,921,992)	(7,127,875)
正 味 財 産 合 計	116,192,027	117,737,059	△ 1,545,032
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	324,474,568	427,470,946	△ 102,996,378